

令和5年度広島市教員研修計画について（報告）

- 令和4年度教育センター研修効果測定結果（報告） . . . . . 資料1
- 人材育成基本方針及び育成指標を踏まえた教員研修計画—概要— . . . 資料2
- 校長及び教員としての資質の向上に関する指標 . . . . . 資料3
- 校長及び教員としての資質の向上に関する指標（研修マップ） . . . 資料4
- 令和5年度広島市教員研修計画（案） . . . . . 資料5
  - ・ 「新たな教師の学びの姿」の実現を目指した研修
  - ・ 効率的・効果的な研修
- 令和5年度教育センター研修一覧 . . . . . 資料6

## 令和 4 年度教育センター研修効果測定結果（報告）

### 1 受講者によるアンケート

(1) 研修直後（満足度・理解度・振り返り・活用意識の 4 観点を 4 件法で回答）

- ・ 回答数 4,076 名（66/68 研修）

観点	満足度	理解度	振り返り	活用意識
肯定的評価 (%)	97.2	96.1	98.3	97.1
(参考) 昨年度 (%)	95.9	97.0	98.1	97.3

○ 全ての観点において、肯定的評価の割合が 96% 以上であり、特に満足度が昨年度より向上した。

(2) 受講 1 年後（研修内容の活用、教育実践の手応え、自身の成長の 3 観点を 4 件法で回答する他、所属長所見もあり）

- ・ 回答数 66 名（所属長の推薦を受けて受講する研修 5 研修）

観点	研修内容の活用	教育実践の手応え	自身の成長
肯定的評価 (%)	93.9	83.3	97.0

○ 受講後も研修内容を活用し、自身の成長を感じられており研修効果が認められる。

● 引き続き、研修内容の実効性を高められるよう内容の工夫・改善を図る。

### 2 指導主事等による評価（各研修のねらいに沿った規準を設定し、理解度・活用度を評価）

(1) 理解度…研修内容活用シート等に記載された「キーワード」の頻出度による評価

- ・ 延べ評価者数 3,858 名

研修種別	経験年次	管理職	主任・主事	職務別	所属長推薦	申込	全平均
頻出度 (%)	99.2	97.2	98.6	98.0	99.5	98.6	98.6
(参考) 昨年度 (%)	98.2	95.8	96.8	95.4	97.9	98.2	97.1

○ 全平均で 98% 以上の頻出度があり、研修内容の理解が進んでいる。特に管理職研修、職務別研修では、内容の焦点化や資料の改善を行い、理解度が昨年度より向上した。

● 引き続き、研修内容の理解が深まるよう、内容を焦点化した説明や資料提供をする。

(2) 活用度…研修の提出物（実践報告書・指標に基づく振り返りシート等）による評価

- ・ 延べ評価者数 3,318 名

研修種別	経験年次	管理職	主任・主事	職務別	所属長推薦	申込	全平均
達成率 (%)	98.4	74.8	96.6	98.0	96.7	99.3	94.6
(参考) 昨年度 (%)	97.8	75.2	96.1	98.3	93.9	100	93.6

○ 昨年度より全平均の活用度が向上しており、研修内容が教育実践に活用されていると考える。

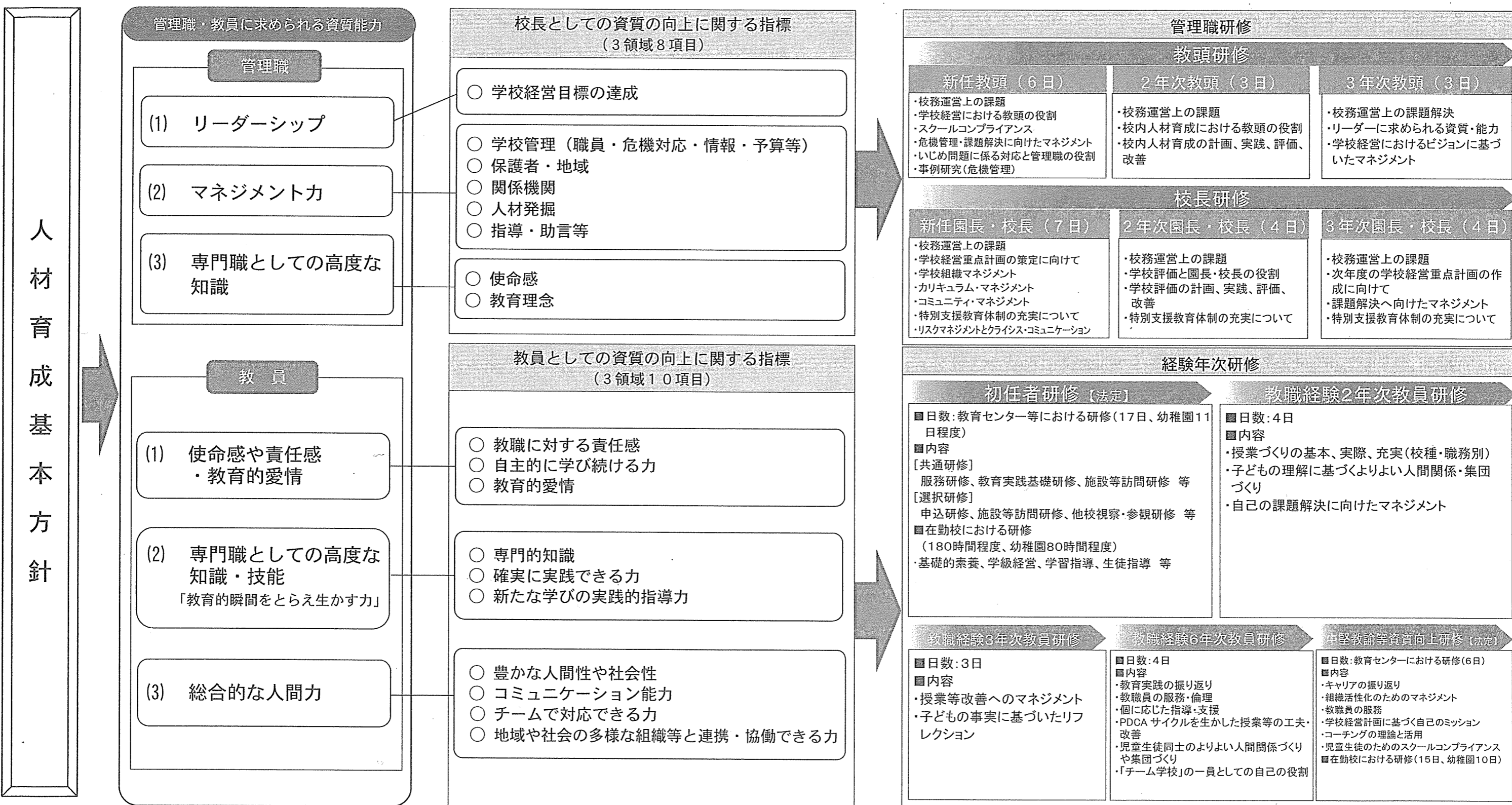
● 受講者のマネジメント力の向上をねらい、研修内容の工夫、改善を図る。

人材育成基本方針及び育成指標を踏まえた教員研修計画一概要一

**人材育成基本方針**  
 広島の子どもたちが「心身ともにたくましく思いやりのある人」として、その可能性を最大限に発揮できるよう、教職員一人一人が資質能力を向上させるとともに、管理職のリーダーシップのもと、チーム学校として組織的・効果的な取組を行う必要がある。このため、広島市教員研修計画に基づいた、教育に関する専門的事項についての研修等を実施し、学校の教育力を高める人材を育成する。

**校長及び教員としての資質の向上に関する指標**  
 「指標※」は、教員等が研修を通じて資質の向上を図る際の目途とするとともに、更に高度な段階を目指す手掛かりとなるもの。また、教員等の資質の向上を担う教育委員会と教員養成を担う大学等が共通認識を図り、身に付ける資質能力を明確化したもの。※ 教育公務員特例法の改正（H29.4.1施行）に伴い策定、R4.12に一部変更

**教員研修計画**  
 校長及び教員が「指標」を踏まえ、それぞれのキャリアに応じて研修や自己啓発に取り組み、意図的・計画的に資質能力の向上を図ることができるよう、経験年次ごとの研修内容等を具体的に示したもの。  
 また、主任・主事等職務別の研修や、授業づくり・学校づくりの推進者育成のための研修、自己の課題に応じ選択して受講する研修についても示している。



校長及び教員としての資質の向上に関する指標

資料3

広島市教育委員会

【教員】

3領域	10項目	番号	内 容	若手前期 (1~3年次)	若手後期 (4~6年次)	中堅 育成期 (7年次~)	
使命感や責任感・教育的愛情	教員に対する責任感	1	うまくいかないことがあっても、あきらめず前向きに対応し続けることができる。				
		2	教育公務員として服務規律(不祥事防止、コンプライアンス)を遵守し、規範意識をもって職務に専念することができる。				
		3	生命・心身を脅かす事故・災害等に普段から備え、危機管理の知識や視点をもち、様々な場面に対応できる。				
		4	自己の考えのみで判断せず管理職や同僚の話を聞くなど、客観的な情報に基づいた判断をすることができる。				
	学び続けるに力	5	管理職や同僚等の助言を謙虚に受け止め、自分を振り返り、自己の成長につなげることができる。				
		6	常にチャレンジ精神や向上心をもち、新たなことを取り入れるための研修に参加するなど自己研鑽に努めることができる。				
		7	社会の動向に関心をもち、市の教育振興基本計画等(国や県の計画を含む)を踏まえて教育実践を行うことができる。				
	教育的愛情	8	幼児、児童及び生徒に公平かつ受容的・共感的に関わり、子どもの行動の内面にある喜びや不安などを捉えることができる。				
		9	常に幼児、児童及び生徒の状況を把握し、変化を捉え、子どもにとって何が最善かを踏まえ、個に応じた適切な働きかけを継続的に行うことができる。				
専門職としての高度な知識・技能	① 子どもの理解	10	書籍や研修等から今日的な教育の動向を把握し、専門的知識・技能を習得することができる。				
		11	幼児、児童及び生徒同士の関係や仲間集団を把握し、よりよい人間関係づくりや集団づくりに取り組むことができる。				
		12	特別な配慮や支援を必要とする幼児、児童及び生徒の特性等を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や支援方法を身に付けるとともに、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。				
		② 生徒指導	13	自尊感情を育むための手立てについて理解し、幼児、児童及び生徒の自己肯定感を高める取組を行うことができる。			
			14	キャリア教育や進路指導の意義を理解し、地域・社会や産業界と連携しながら、学校の教育活動全体を通じて、幼児、児童及び生徒が自分らしい生き方を実現するための力を育成することができる。			
			15	個々の生徒指導上の課題等について、その予防・解決に向けての教育相談の意義や理論を理解し、適切な指導・支援を行うことができる。			
			16	不登校やいじめなどの教育課題について理解し、その予防・解決に取り組むことができる。			
		③ 学級づくり	17	幼児、児童及び生徒の特性やよさを認め、幼児、児童及び生徒が安心・安全に過ごせる温かい学級・ホームルームづくりに取り組むことができる。			
			18	学校教育目標を理解し、その実現に向けた学級経営案やホームルーム計画を立てることができる。			
			19	教職員や家庭・地域と連携しながら、開かれた学級・ホームルーム経営を進めることができる。			
	20		幼児、児童及び生徒一人一人の特性やよさを見取り、学校生活や学習に対する意欲や興味・関心を引き出すことができる。				
	④ 授業づくり	21	年間指導計画に位置付けられている教材の価値を捉え、教材研究を行うことができる。				
		22	学習指導要領等と幼児、児童及び生徒の実態を踏まえ、学習指導案を作成することができる。				
		23	発問や板書、机間指導等を効果的に用いて、授業のねらいに応じた指導を行うことができる。				
		24	学習指導案や日々の授業計画等に基づき、授業を実践することができる。				
		25	学校教育目標を踏まえ、具体的な教育活動を示した年間指導計画を作成することができる。				
		26	授業の見方・観点について理解し、自他の授業分析から目標の達成に向けた授業を実践することができる。				
		27	学習評価の在り方を理解し、評価規準を用いて幼児、児童及び生徒の学習状況を把握することができる。				
		28	同僚の授業を参観し、そこから見える成果や課題を適切に評価し、自己の学びにつなげることができる。				
	⑤ 課題解決	29	教科等における自校の課題について、教育データ等を活用して分析・考察し、学力の定着・向上等に取り組むことができる。				
		30	カリキュラム・マネジメントの意義を踏まえ、PDCAサイクルを生かした学習指導等について理解し、指導方法の工夫・改善を行うことができる。				
		31	学校を取り巻く状況を把握・分析し、学校組織の課題を発見し、建設的に意見を述べることができる。				
		32	探究型の学習、活用型の学習、協働学習等の新たな学びを取り入れた授業を実践することができる。				
		33	学校におけるICTの活用意義を理解し、授業や校務等にICTを効果的に活用することができる。				
	新たな学びの実践的指導力	豊かな社会人間的性	34	自己のストレス解消法を見つけ、健康的な生活習慣を維持することができる。			
			35	言葉遣いやマナーなどの社会人としての常識を身に付けた対応をすることができる。			
			36	スケジュール管理に努め、時間や提出期限等を守ることができる。			
			37	人権尊重の精神を理解し、多様な価値観を尊重しながら自らの人権意識を高めることができる。			
		コミュニケーション	38	幼児、児童及び生徒との人間関係の重要性を理解し、積極的にコミュニケーションを図ることができる。			
			39	悩みや困ったことが生じた場合等も含め日常的に、管理職や同僚に相談したり進捗状況を報告したりすることができる。			
		対応できる力	40	同僚の教育実践について、学び合う意欲をもって助言することができる。			
			41	同僚の特性やよさを見取り、それらを生かしたよりよい「チーム学校」づくりに貢献することができる。			
			42	「チーム学校」の一員として自己の役割を自覚し、全体を俯瞰しつつ学校運営に貢献することができる。			
43			現状にとどまらず、よりよい「チーム学校」づくりや問題解決に向けて対応することができる。				
多様な環境や状況に対応できる力	44	地域の教育資源の情報収集を行い、日々の教育活動に生かすことができる。					
	45	ホームページや学校だより等による学校の情報発信に積極的に貢献することができる。					
	46	学年・学校内での共通認識のもと、児童療育センター、警察等、外部の専門機関と連携を図ることができる。					

【管理職】

3領域	8項目	番号	内 容	新任 教頭	2年次 教頭	3年次 教頭	新任 園長 校長	2年次 園長 校長	3年次 園長 校長
リーダーシップ	学校経営目標の達成	1	自校の現状や課題を把握し、課題解決に向けての戦略を構築するとともに、自校の経営計画をたて、カリキュラム・マネジメント等のPDCAサイクルに基づいた実践をすることができる。						
		2	学校経営における園長・校長のリーダーシップとその発揮の在り方について理解し、学校経営方針を明確に示し、リーダーシップを発揮することができる。						
		3	自校の抱える課題を明確にし、その解決のための組織・具体策等を園長・校長に具申することができる。						
		4	先輩の園長・校長から、企画委員会を活用した学校経営等についての実践を聞くなどして、組織活性化のための見通しをもつとともに、実際に取組を進めることができる。						
	学校管理(職員・危機対応・情報・予算等)	5	園長・校長の経営方針を踏まえながら校務分掌の見直しについて考え、改善案を具申することができる。						
		6	教職員の健康づくりに関する正しい知識を学び、労務管理や心の健康問題に対して適切に対処することができる。						
		7	日々の教職員の服務管理(不祥事防止、コンプライアンス)を適切に行うとともに、服務事故に適切に対応することができる。						
		8	経験や事例に基づき、自校の学校事故やいじめ等の対応マニュアルの作成、見直しを行うなど、未然防止策を積極的に講じることができる。						
		9	学校事故やいじめが認知された場合等において、関係機関と連携して、適切に対応することができる。						
		10	学校納入金事務の流れについて理解し、適切に指導するとともに、会計事故に適切に対応することができる。						
		11	事務職員と連携を図りながら、効果的な予算執行に向けた見直しをすることができる。						
		12	広島市情報セキュリティポリシー(情報セキュリティ対策基準)における、電子情報の持ち出し・持ち込みのルールと具体的な管理方法について理解し、適切に対応することができる。						
マネジメント力	保護者・地域	13	自校に向けられた保護者・地域からの様々な要望に対し、適切に対処することができる。						
		14	「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」やコミュニティ・スクールの趣旨を理解し、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の推進のために、保護者や地域住民と連携・協働による取組を進めることができる。						
	15	特別な配慮を必要とする幼児、児童及び生徒への対応にかかわり、子ども及び保護者に、合理的配慮の見地から、学校の方針等の話をするなどすることができる。							
	16	学校ホームページの管理や学校だよりの活用等、広報活動について学ぶとともに、外部に適切に広報、情報提供を行うことができる。							
	17	学校の教育活動に、外部の人材を活用することができる。							
機関係	18	児童療育センターや警察等、様々な外部の専門機関と適切に連携して、課題に対応することができる。							
	19	教育委員会と適切に連携して、課題に対応することができる。							
発掘人材	20	主幹教諭や管理職への昇任希望がある職員を見極め、園長・校長に具申することができる。							
	21	教職員の日々の職務に取り組む姿勢等を観察し、その人の経験や能力、意欲、人柄、人望などについて、把握することができる。							
指導・助言等	22	業績評価(自己申告)書等から教職員のキャリアプランに応じて適切なミッションを示すなど、職員の意欲付けにつながる指導・助言を行うことができる。							
	23	コーチング等様々な人材育成の技法について学び、それらを活用して人材育成を行うことができる。							
	24	教職員の日常の職務記録を作成するとともに、業績評価の基本方針に基づき、業績評価を行い、それに基づいて業績評価の面談時に、教職員に指導することができる。							
	25	授業等の観察を行い、観察シートに授業等の様子を記録するとともに、観察終了後及び業績評価の面談時に、教職員に指導することができる。							
	26	園・校内研修の企画・運営・管理にかかわる助言を行うことができる。							
専門職としての高度な知識	使命感	27	教育関連法規の改正、学習指導要領等の改訂などによる新たな教育課題について学び、適切に対応することができる。						
		28	学校経営の最高責任者としての園長・校長に求められる使命感及びコンプライアンスについて理解し、適切に対応することができる。						
	教育理念	29	広島市教育大綱や広島市教育振興基本計画に基づく主要施策について理解し、自校の教育活動に生かすことができる。						
		30	園長・校長の意を汲んだ講話を、園長・校長に代わって行うことができる。						
		31	新聞、書物、講演等、様々な機会を捉え、社会の動向やニーズを把握し、自校の教育活動に生かすことができる。						

(網掛け部)は、資質を身に付けておくべき主なキャリアの段階を示す。

(網掛け部)は、資質を身に付けておくべき主なキャリアの段階を示す。

校長及び教員としての資質の向上に関する指標(研修マップ)

資料4

広島市教育委員会

【教員】

3領域	10項目	番号	内 容	若手前期 (1~3年次)	若手後期 (4~6年次)	中堅 育成期 (7年次~)	
使命感や責任感・教育的愛情	教員に対する責任感	1	うまくいかないことがあっても、あきらめず前向きに対応し続けることができる。				
		2	教育公務員として服務規律(不祥事防止、コンプライアンス)を遵守し、規範意識をもって職務に専念することができる。	初	6	中	
		3	生命・心身を脅かす事故・災害等に普段から備え、危機管理の知識や視点をもち、様々な場面に対応できる。	初			
		4	自己の考えのみで判断せず管理職や同僚の話を聞くなど、客観的な情報に基づいた判断をすることができる。			中	
	学びを続ける力	5	管理職や同僚等の助言を謙虚に受け止め、自分を振り返り、自己の成長につなげることができる。	初、2			
		6	常にチャレンジ精神や向上心を持ち、新たなことを取り入れるための研修に参加するなど自己研鑽に努めることができる。	初、2			
		7	社会の動向に関心をもち、市の教育振興基本計画等(国や県の計画を含む)を踏まえて教育実践を行うことができる。		6		
	教育的愛情	8	幼児、児童及び生徒に公平かつ受容的・共感的に関わり、子どもの行動の内面にある喜びや不安などを捉えることができる。	初、2	6	中	
		9	常に幼児、児童及び生徒の状況を把握し、変化を捉え、子どもにとって何が最善かを踏まえ、個に応じた適切な働きかけを継続的に行うことができる。	初、2、3	6	中	
専門職としての高度な知識・技能	①子ども理解	10	書籍や研修等から今日的な教育の動向を把握し、専門的知識・技能を習得することができる。				
		11	幼児、児童及び生徒同士の関係や仲間集団を把握し、よりよい人間関係づくりや集団づくりに取り組むことができる。	初、2	6	中	
		12	特別な配慮や支援を必要とする幼児、児童及び生徒の特性を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や支援方法を身に付けるとともに、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。		6	中	
		②生徒指導	13	自尊感情を育むための手立てについて理解し、幼児、児童及び生徒の自己肯定感を高める取組を行うことができる。		6	
			14	キャリア教育や進路指導の意義を理解し、地域・社会や産業界と連携しながら、学校の教育活動全体を通じて、幼児、児童及び生徒が自分らしい生き方を実現するための力を育成することができる。		6	
			15	個々の生徒指導上の課題等について、その予防・解決に向けての教育相談の意義や理論を理解し、適切な指導・支援を行うことができる。			
			16	不登校やいじめなどの教育課題について理解し、その予防・解決に取り組むことができる。	初、2	6	中
		③学級づくり	17	幼児、児童及び生徒の特性やよさを認め、幼児、児童及び生徒が安心・安全に過ごせる温かい学級・ホームルームづくりに取り組むことができる。	初、2	6	
			18	学校教育目標を理解し、その実現に向けた学級経営案やホームルーム計画を立てることができる。			
			19	教職員や家庭・地域と連携しながら、開かれた学級・ホームルーム経営を進めることができる。			
			20	幼児、児童及び生徒一人一人の特性やよさを見取り、学校生活や学習に対する意欲や興味・関心を引き出すことができる。	2		
		④授業づくり	21	年間指導計画に位置付けられている教材の価値を捉え、教材研究を行うことができる。	2		
	22		学習指導要領等と幼児、児童及び生徒の実態を踏まえ、学習指導案を作成することができる。	初			
	23		発問や板書、机間指導等を効果的に用いて、授業のねらいに応じた指導を行うことができる。	初、3			
	24		学習指導案や日々の授業計画等に基づき、授業を実践することができる。	初、2、3			
	25		学校教育目標を踏まえ、具体的な教育活動を示した年間指導計画を作成することができる。				
	26		授業の見方・観点について理解し、自他の授業分析から目標の達成に向けた授業を実践することができる。				
	27		学習評価の在り方を理解し、評価規準を用いて幼児、児童及び生徒の学習状況を把握することができる。		6		
	28		同僚の授業を参観し、そこから見える成果や課題を適切に評価し、自己の学びにつなげることができる。	3			
	⑤課題解決	29	教科等における自校の課題について、教育データ等を活用して分析・考察し、学力の定着・向上等に取り組むことができる。		6	中	
		30	カリキュラム・マネジメントの意義を踏まえ、PDCAサイクルを生かした学習指導等について理解し、指導方法の工夫・改善を行うことができる。		6	中	
		31	学校を取り巻く状況を把握・分析し、学校組織の課題を発見し、建設的に意見を述べるることができる。			中	
	新たな学びの実践的指導力	32	探究型の学習、活用型の学習、協働学習等の新たな学びを取り入れた授業を実践することができる。		6		
		33	学校におけるICTの活用意義を理解し、授業や校務等にICTを効果的に活用することができる。	2	6		
	総合的な人間力	豊かな社会性や人間性	34	自己のストレス解消法を見つけ、健康的な生活習慣を維持することができる。			
			35	言葉遣いやマナーなどの社会人としての常識を身に付けた対応をすることができる。	初		
			36	スケジュール管理に努め、時間や提出期限等を守ることができる。			
			37	人権尊重の精神を理解し、多様な価値観を尊重しながら自らの人権意識を高めることができる。			
コミュニケーション能力		38	幼児、児童及び生徒との人間関係の重要性を理解し、積極的にコミュニケーションを図ることができる。	初、2	6	中	
		39	悩みや困ったことが生じた場合等も含め日常的に、管理職や同僚に相談したり進捗状況を報告したりすることができる。	初			
対応できるチーム力		40	同僚の教育実践について、学び合う意識をもって助言することができる。			中	
		41	同僚の特性やよさを見取り、それらを生かしたよりよい「チーム学校」づくりに貢献することができる。	初	6	中	
		42	「チーム学校」の一員として自己の役割を自覚し、全体を俯瞰しつつ学校運営に貢献することができる。	初	6	中	
		43	現状にとどまることなく、よりよい「チーム学校」づくりや問題解決に向けて対応することができる。			中	
地域や社会との連携・協働等ができる力	44	地域の教育資源の情報収集を行い、日々の教育活動に生かすことができる。					
	45	ホームページや学校だより等による学校の情報発信に積極的に貢献することができる。					
	46	学年・学校内での共通認識のもと、児童療育センター、警察等、外部の専門機関と連携を図ることができる。			中		

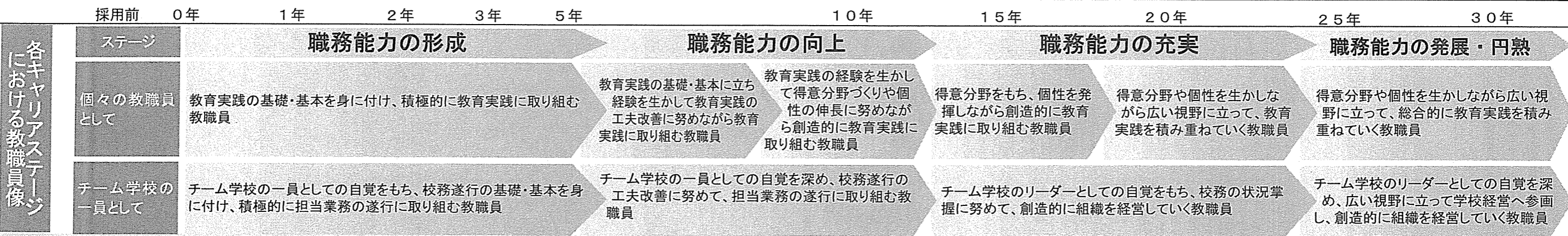
【管理職】

3領域	8項目	番号	内 容	新任 教頭	2年次 教頭	3年次 教頭	新任 園長 校長	2年次 園長 校長	3年次 園長 校長	
リーダーシップ	学校経営目標の達成	1	自校の現状や課題を把握し、課題解決に向けての戦略を構築するとともに、自校の経営計画をたて、カリキュラム・マネジメント等のPDCAサイクルに基づいた実践をすることができる。							
		2	学校経営における園長・校長のリーダーシップとその発揮の在り方について理解し、学校経営方針を明確に示し、リーダーシップを発揮することができる。							
		3	自校の抱える課題を明確にし、その解決のための組織・具体策等を園長・校長に具申することができる。							
		4	先輩の園長・校長から、企画委員会を活用した学校経営等についての実践を聞くなどして、組織活性化のための見通しをもつとともに、実際に取組を進めることができる。							
	学校管理(職員・危機対応・情報・予算等)	5	園長・校長の経営方針を踏まえながら校務分掌の見直しについて考え、改善案を具申することができる。							
		6	教職員の健康づくりに関する正しい知識を学び、労務管理や心の健康問題に対して適切に対処することができる。							
		7	日々の教職員の服務管理(不祥事防止、コンプライアンス)を適切に行うとともに、服務事故に適切に対応することができる。							
		8	経験や事例に基づき、自校の学校事故やいじめ等の対応マニュアルの作成、見直しを行うなど、未然防止策を積極的に講じることができる。							
		9	学校事故やいじめが認知された場合等において、関係機関と連携して、適切に対応することができる。							
		10	学校納入金事務の流れについて理解し、適切に指導するとともに、会計事故に適切に対応することができる。							
		11	事務職員と連携を図りながら、効果的な予算執行に向けた見直しをすることができる。							
		12	広島市情報セキュリティポリシー(情報セキュリティ対策基準)における、電子情報の持ち出し・持ち込みのルールと具体的な管理方法について理解し、適切に対応することができる。							
マネジメント力	保護者・地域	13	自校に向けられた保護者・地域からの様々な要望に対し、適切に対処することができる。							
		14	「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」やコミュニティ・スクールの趣旨を理解し、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の推進のために、保護者や地域住民と連携・協働による取組を進めることができる。							
		15	特別な配慮を必要とする幼児、児童及び生徒への対応にかかわり、子ども及び保護者に、合理的配慮の見地から、学校の方針等の話をするすることができる。							
	16	学校ホームページの管理や学校だよりの活用等、広報活動について学ぶとともに、外部に適切に広報、情報提供を行うことができる。								
	17	学校の教育活動に、外部の人材を活用することができる。								
機関係	18	児童療育センターや警察等、様々な外部の専門機関と適切に連携して、課題に対応することができる。								
	19	教育委員会と適切に連携して、課題に対応することができる。								
発人掘材	20	主幹教諭や管理職への昇任希望がある職員を見極め、園長・校長に具申することができる。								
	21	教職員の日々の職務に取り組む姿勢等を観察し、その人の経験や能力、意欲、人柄、人望などについて、把握することができる。								
指導・助言等	22	業績評価(自己申告)書等から教職員のキャリアプランに応じて適切なミッションを示すなど、職員の意欲付けにつながる指導・助言を行うことができる。								
	23	コーチング等様々な人材育成の技法について学び、それらを活用して人材育成を行うことができる。								
	24	教職員の日常の職務記録を作成するとともに、業績評価の基本方針に基づき、業績評価を行い、それに基づいて業績評価の面談時に、教職員に指導することができる。								
	25	授業等の観察を行い、観察シートに授業等の様子を記録するとともに、観察終了後及び業績評価の面談時に、教職員に指導することができる。								
	26	園・校内研修の企画・運営・管理にかかわる助言を行うことができる。								
使命感としての教育理念	27	教育関連法規の改正、学習指導要領等の改訂などによる新たな教育課題について学び、適切に対応することができる。								
	28	学校経営の最高責任者としての園長・校長に求められる使命及びコンプライアンスについて理解し、適切に対応することができる。								
	29	広島市教育大綱や広島市教育振興基本計画に基づく主要施策について理解し、自校の教育活動に生かすことができる。								
	30	園長・校長の意を汲んだ講話を、園長・校長に代わって行うことができる。								
	31	新聞、書物、講演等、様々な機会を捉え、社会の動向やニーズを把握し、自校の教育活動に生かすことができる。								

■(網掛け部)は、資質を身に付けておくべき主要なキャリアの段階を示す。

「初」は初任者研修において資質の向上を図る内容を取り扱うことを示す。この他、「2」は2年次研修、「3」は3年次研修、「6」は6年次研修、「中」は中堅教諭等資質向上研修、「■」は各管理職研修、表記のない網掛け部はOJT等において資質の向上を図る内容を取り扱うことを示す。

# 令和5年度広島市教員研修計画(案)



**臨時任用教諭研修**

■日数：新規者5日 経験者3日

■内容

- セルフマネジメント
- 学級づくり、授業づくりの基礎・基本
- いじめ問題への適切な対応(新規者)
- コミュニケーションスキル(新規者)
- 教職員の服務(新規者)

**初任者研修** (教育センター等における研修(17日、幼稚園11日程度))

■日数：4日

■内容

- 授業づくりの基本、実践、充実
- 子どもの理解に基づくよりよい人間関係・集団づくり
- 自己の課題解決に向けたマネジメント

**教職経験2年次教員研修**

■日数：3日

■内容

- 授業等改善へのマネジメント
- 子どもの事実に基づいたリフレクション

**教職経験3年次教員研修**

■日数：4日

■内容

- 教育実践の振り返り
- 教職員の服務・倫理
- 個に応じた指導・支援
- PDCAサイクルを生かした授業等の工夫・改善
- 児童生徒同士よりよい人間関係づくりや集団づくり
- 「チーム学校」の一員としての自己の役割

**教職経験6年次教員研修**

■日数：教育センター等における研修(6日)

■内容

- キャリアの振り返り
- 組織活性化のためのマネジメント
- 教職員の服務
- 学校経営計画に基づく自己のミッション
- コーチングの理論と活用
- 児童生徒のためのスクールコンプライアンス
- 在勤校における研修(15日、幼稚園10日)

**中堅教諭等資質向上研修**

**教頭研修**

**新任教頭(6日)**

- 校務運営上の課題
- 学校経営における教頭の役割
- スクールコンプライアンス
- 危機管理・課題解決に向けたマネジメント
- いじめ問題に係る対応と管理職の役割
- 事例研究(危機管理)

**2年次教頭(3日)**

- 校務運営上の課題
- 校内人材育成における教頭の役割
- 校内人材育成の計画、実践、評価、改善

**3年次教頭(3日)**

- 校務運営上の課題
- リーダーに求められる資質・能力
- 学校経営におけるビジョンに基づいたマネジメント

**校長研修**

**新任園長・校長(共通研修：6日)(学校訪問指導：1日)**

- 校務運営上の課題
- 学校経営重点計画の策定に向けて
- 学校組織マネジメント
- カリキュラム・マネジメント
- コミュニティ・マネジメント
- 特別支援教育体制の充実について
- リスクマネジメントとクライシス・コミュニケーション

**2年次園長・校長(4日)**

- 校務運営上の課題
- 学校評価と園長・校長の役割
- 学校評価の計画、実践、評価、改善
- 特別支援教育体制の充実について

**3年次園長・校長(4日)**

- 校務運営上の課題
- 次年度の学校経営重点計画の作成に向けて
- 課題解決へ向けたマネジメント
- 特別支援教育体制の充実について

**主任・主事等研修**

<b>【新任教務主任研修】</b> [4日] ・教務主任の役割と実務 ・深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント ・教務経営の見直しと評価	<b>【幼稚園主任研修】</b> [2日] ・幼稚園経営と主任の役割 ・子ども主体の保育・教育	<b>【新任進路指導主事研修】</b> [2日] 高・中等後期・特(高等部)は1日 ・進路指導主事の役割と実務 ・事例から学ぶ進路指導上の課題への対応	<b>【新任保健主事研修】</b> [1日] ・保健主事の役割と実務 ・学校保健計画の実践
--	---	---	---

**職務別研修**

<b>【初任者研修指導教員研修】</b> [5日] ・初任者研修指導教員の役割 ・初任者へのコーチング ・初任者の抱えている課題に対する有効な取組について	<b>【特別支援学級等新規担当教員研修】</b> [6日] ・学級経営・学習指導の基本 ・教育課程と自立活動 ・発達障害のある子どもとのコミュニケーション	<b>【通級指導教室等新規担当教員研修】</b> [5日] ・通級指導教室等の基本 ・障害特性に応じた指導方法(情緒障害、言語・難聴) ・教室経営のマネジメント	<b>【特別支援教育コーディネーター研修】</b> (新任：5日 経験：3日) ・コーディネーターの役割 ・特別支援教育の推進 ・特別支援教育に係る校内体制づくり	<b>【情報教育担当者研修】</b> (新任：5日 経験：1日) ・情報教育担当者の役割と実務 ・教育の情報化推進の充実
--	--	---	--	--

**学校づくり推進のための人材育成**

<b>【生徒指導主事研修】</b> (新任：5日 経験：3日) ・生徒指導主事の役割と校内体制づくり ・本市の現状を踏まえたいじめへの対応 ・生徒指導とスクールコンプライアンス	<b>【教育相談・支援主任研修】</b> (新任：6日 経験：3日) ・教育相談・支援主任の役割 ・「チーム学校」を進める教育相談 ・深い子ども理解のための	<b>【新任学年主任研修】</b> [2日] ・学年主任の役割と実務 ・学年経営上の課題解決に向けて ・学年経営上の課題解決に向けた取組の評価	<b>【小学校英語専科指導教員研修】</b> [3日] ・小学校外国語科の基礎・基本 ・効果的な言語活動が設定された授業づくり	<b>【中・高等学校英語指導助手(ALT)活用研修】</b> [2日] ・言語活動の理解と英語指導助手(ALT)を活用した授業づくり	<b>【栄養教諭・学校栄養職員研修】</b> [1日] ・エビデンスに基づく食育の推進	<b>【食育推進担当者研修】</b> [2日] ・学校全体で取り組む食育推進の推進 ・事例紹介 ・栄養教諭による食育・学校給食サポート体制	<b>【学校保健研修】</b> 対象：養護教諭等 [3日] ・学校における救急処置 ・子どもの心身の健康課題への対応の充実	<b>【子どもの安全に係る研修】</b> 対象：園長・校長 [1日] ・学校の防災体制の充実	<b>【学校安全担当者研修】</b> [1日] ・安全教育の推進
---	---	--	---	---	--	--	---	---	-------------------------------------

**推薦により受講する研修**

<b>【教員長期研修】</b> [1年間] ・専門的知識・技能の向上 ・指導・助言力の向上	<b>【教育活動推進リーダー育成研修】</b> [7日] ・学校のビジョンの実現に向けた教育活動の推進 ・「令和の日本型学校教育」が目指す学び	<b>【主幹教諭等研修】</b> [8日] ・主幹教諭等の役割 ・組織マネジメント ・学校と法社会・地域と学校	<b>【学校評価研修】</b> [4日] ・学校評価の充実に向けた演習・実践・振り返り ・コミュニティ・スクールと学校評価	<b>【校内授業研究の充実に係る研修】</b> [共通研修：5日][学校訪問指導：2日] ・研究主題の再確認と主題達成までの見通し ・校内授業研究の充実に向けて ・自校の児童生徒の学力及び学習状況の分析
---	---	--	---	--

対象者全員が受講する研修

申込により受講する研修

**採用前研修**

■日数：3日

■内容

- 学級づくりの基礎・基本
- 授業づくりの基礎・基本
- コミュニケーションの基礎・基本

**未来教師セミナー**

主として「専門的知識の向上」に関する研修

司書教諭・学校図書館担当教諭研修、平和教育研修、高等学校教育専門研修Ⅲ、幼稚園教育実践研修、幼稚園教育実技研修

主として「教師の豊かな人間性や教育的愛情等」に関する研修

人権教育研修、メンタルヘルス研修

主として「子ども理解、生徒指導」に関する研修

通級指導教室等担当教員研修、子どもの理解研修Ⅰ～Ⅳ、高等学校教育専門研修Ⅱ、特別支援教育基礎研修Ⅰ・Ⅱ

主として「授業づくり、新たな学び」に関する研修

特別支援学級授業づくり研修、授業づくり研修Ⅰ・Ⅱ、小学校教科担任制に係る授業づくり基礎研修[算数科、理科、体育科]、高等学校教育専門研修Ⅰ、ICTを活用した授業づくり研修

0 J T、校内研修、自己啓発、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

※ 研修の実施時期や会場等については、別途実施要項等で定めるとともに、教育センターホームページに掲載しています。

令和5年度 教育センター 研修一覧

資料6

区分	番号	研修名	研修形態		
			集合	オンライン	
				同時 双方向	動画等 資料配信
	0	教職基礎研修	3		
対象者全員が受講する研修【対象者全員】	1	小学校臨時の任用教諭研修（新規者）	5		
	2	小学校臨時の任用教諭研修（経験者）	3		
	3	中学校臨時の任用教諭研修（新規者）	5		
	4	中学校臨時の任用教諭研修（経験者）	3		
	5	初任者研修	8	1	3
	6	新規採用幼稚園教諭研修	8		2
	7	新規採用養護教諭研修	6	1	3
	8	新規採用栄養教諭研修	6	1	3
	9	教職経験2年次教員研修	2	2	
	10	教職経験3年次教員研修	1	1	1
	11	教職経験6年次教員研修	3		1
	12	中堅教諭等資質向上研修	5		1
	13	中堅養護教諭資質向上研修	5		1
	14	中堅栄養教諭資質向上研修	5		1
	15	新任教務主任研修	2		2
	16	幼稚園主任研修	2		
	17	新任進路指導主事研修	1	1	
	18	新任保健主事研修	1		
	19	新任生徒指導主事研修	5		
	20	生徒指導主事研修	3		
	21	新任教育相談・支援主任研修	4		2
	22	教育相談・支援主任研修	2		1
	23	新任学年主任研修	1		1
	24	新任教頭研修	6		
	25	経験2年次教頭研修	3		
	26	経験3年次教頭研修	3		
	27	新任園長・校長研修	6		
	28	経験2年次園長・校長研修	4		
	29	経験3年次園長・校長研修	4		
	30	初任者研修指導教員研修	5		
	31	特別支援学級等新規担当教員研修	3		3
	32	通級指導教室等新規担当教員研修	4		1
		新任特別支援教育コーディネーター研修【幼】	3		2
	33	新任特別支援教育コーディネーター研修【小・中・中等前・特】	2		3
		新任特別支援教育コーディネーター研修【高・中等後】	3		2
		特別支援教育コーディネーター研修【幼】	3		
	34	特別支援教育コーディネーター研修【小・中・中等前・特】	2	1	
		特別支援教育コーディネーター研修【高・中等後】	3		
	35	新任情報教育担当者研修	4		1
	36	情報教育担当者研修			1
	37	小学校英語専科指導教員研修	3		
	38	中・高等学校英語指導助手（ALT）活用研修	2		
	39	栄養教諭・学校栄養職員研修	1		
40	食育推進担当者研修	1		1	
41	学校保健研修	3			
42	子どもの安全に係る研修			1	
43	学校安全推進担当者研修	1			
小計		158	8	37	

※この他に学校訪問指導1日あり

区分	番号	研修名	研修形態		
			集合	オンライン	
				同時 双方向	動画等 資料配信
受所属する者の推薦（推薦による）	44	教育活動推進リーダー育成研修	7		
	45	主幹教諭等研修	7	1	
	46	学校評価研修	4		
	47	校内授業研究の充実に係る研修	5		
	小計		23	1	0

※この他に学校訪問指導2日あり。

区分	番号	研修名	研修形態		
			集合	オンライン	
				同時 双方向	動画等 資料配信
申込みにより受講する研修【希望者】	48	特別支援学級授業づくり研修（子どもの実態から始まる授業づくり）	2		
	49	通級指導教室等担当教員研修（実態に基づく実践力の向上）	2		
	50	司書教諭・学校図書館担当教諭研修（見通しをもった学校図書館経営の工夫）	1		
	51	人権教育研修（人権感覚を高める指導の工夫）	1		
	52	平和教育研修（広島市の平和教育充実）	1		
	53	子どもの理解研修Ⅰ（発達障害等のある子どもの理解と支援）		1	
	54	子どもの理解研修Ⅱ（不登校・引きこもりの子どもの理解と保護者との関わり）	1		
	55	子どもの理解研修Ⅲ（発達障害と生徒指導-いじめへの適切な対応-）	1		
	56	子どもの理解研修Ⅳ（いじめの防止等に向けた教育相談の効果的な実践）	1		
	57	授業づくり研修Ⅰ（これからの時代に求められる新たな学びに向けた授業の姿）		1	
	58	授業づくり研修Ⅱ（授業改善への処方箋）		1	
	59	小学校教科担任制に係る授業づくり基礎研修【算数科】（教科指導の専門性の向上）			2
	60	小学校教科担任制に係る授業づくり基礎研修【理科】（教科指導の専門性の向上）			2
	61	小学校教科担任制に係る授業づくり基礎研修【体育科】（教科指導の専門性の向上）			2
	62	高等学校教育専門研修Ⅰ（各教科における探究的な学習の充実を目指した授業改善とカリキュラム・マネジメント）		1	
	63	高等学校教育専門研修Ⅱ（特別な配慮や支援を要する生徒への対応と保護者対応）		1	
	64	高等学校教育専門研修Ⅲ（スクール・ポリシーの実現に向けたカリキュラム・マネジメント）		1	
	65	幼稚園教育実践研修（「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮した領域「表現」の指導の充実）	1		
	66	幼稚園教育実践研修（幼児の発達に応じた遊びの指導の理解）	1		
	67	特別支援教育基礎研修Ⅰ（通常の学級に在籍する発達障害等のある子どもの困り感に対するアプローチ）	3		
68	特別支援教育基礎研修Ⅱ（認知機能（見たり、聞いたり、想像したりする力）の弱さで困っている子どもへのアプローチ）	1			
69	ICTを活用した授業づくり研修（学習のねらいにつながる効果的なICTの活用）	1		2	
70	メンタルヘルス研修（効果的な心身のセルフケア）	1			
小計		18	6	8	

総計			研修形態		
集合	オンライン				
	同時 双方向	動画等 資料配信			
199	15	45			

★指定枠を超えて、希望に応じて聴講できる者

園長・校長・教頭・部主事
学校事務職員
全教職員（但し、中堅教諭等資質向上研修に関しては、本研修受講済の者に限る）